

災害見舞金支給調査書

組合員氏名	共済 太郎			り災日時	自 令和 ○ 年 5 月 1 日 20 時		
組合員等記号番号	111 - 123				至 令和 年 月 日 時		
り災の場所	〇〇市××1-2-3						
り災の状況及びその顛末	令和○年5月1日午後8時頃、自宅1階居間より出火し、火災により自宅1階・2階部分を焼失及び水損、また、家財のほとんどを焼失及び水損した。原因は、コンセントにプラグを長時間差し込んだままにしておいたためによる、トラッキング現象による火災である。ほぼ住居全体が焼失・損壊しており、補修をしても二度と住めない状態である。						
り災の程度							
住居又は家財の名称	見積額		り災率(%)	備考			
	り災前(円)	損害(円)					
住居	20,000,000	18,000,000	90.00	木造一部2階建			
家財	家具	3,500,000	3,100,000	88.57	罹災状況報告書(家財)のとおり		
	衣類	1,280,000	1,250,000	97.66	〃		
	その他	5,480,000	4,884,000	89.12	〃		
	計	10,260,000	9,234,000	90.00			
※ 認定	短期標準報酬月額のか月分						
り災状況の写真又は見取図	調査年月日	令和 ○ 年 ○ 月 ○ ○ 日					
	調査担当者職氏名						
	調査立会人職氏名	主幹 ○ ○ ○ ○					
	備考						
事務局長	事務局次長	参事	課長	副参事	担当マネージャー	課員	備考

(注)1 「り災の状況及びその顛末」欄は、写実的に具体的に記入のこと。
2 り災の程度「備考」欄には、住居の構造を記入のこと。
3 家財の名称欄は、家具、衣類等主要なものとし、その他はその合計額により記入のこと。
4 浸水の程度により、損害の程度を認定する場合は住居と家財を包含して適用し、住居について2階以上の場合は、その階数を備考欄に記入のこと。
5 見積額は、社会通念による時価とすること。
6 ※欄は、記入しないでください。